

## ◆【全国発信記事】 東北地方支部

海外まき網漁船「第二たいよう丸」が石巻港を出港 — 大慶漁業株式会社 —

### 船員後継者を確保し後輩船員に職場を残す

6月10日、宮城県石巻港から大慶漁業株式会社所属の「第二たいよう丸」が出港した。出港にあたり尾形幸男漁労長は「水産庁は不漁問題検討会において、中・長期的な不漁のリスクに対して、漁業を持続するための今後の施策と方向性について取りまとめた。その中で、単一資源に頼らず、魚種や漁法を組み合わせるなどして、マルチな漁業の操業形態や事業構造について検討するとした。近い将来、柔軟な操業形態や事業構造に移行していくのであれば、漁船員も時代に合わせて対応せざるを得ない。日本人漁船員の後継者不足が深刻化しており、今後多様化していく漁船であっても、日本人漁船員を絶やすことなく、後輩船員たちに職場を残していけるよう、海員組合にも頑張ってもらいたい」と語った。

出港時間を迎えると本船は離岸し、岸壁に集まった乗組員の家族や関係者は本船の安全航海と大漁を祈りながら大きく手を振り、本船は汽笛を鳴らし見送りに応えた。

「海員だより」